実施	平成28年度

# 事務事業事後評価表

《基本情報》

市政市光の夕む	<b>机焊体</b> 电处本电光			所管課 [2]	保健予防課	
事務事業の名称 【1】	妊婦健康診査事業			評価者(担当者)	森 千絵	
	基本目標(章)	⑤いきいきと暮らせる	る福祉のまちづくり			重点
と 総合計画での位置付け	主要施策(節)	(2)保健活動の推進				施策 [4]
心口可囲くの位置的け	施策区分	(1)保健活動の推進				──該当
[3]	(市民意識調査結果)	【A】重点改善領域	✓【B】重点維持領	領域 【C】観察領	域 【D】維持	f領域
実施の根拠	□市長公約□	新市建設計画【	年度 <sup>-</sup>			千円】
(複数回答可)		等【 母子保健法、玉名			_ ]	
[5]	✓その他の計画【	市次世代育成支援行			□該当な	L
事業区分	□ソフト事業	✓ 義務的事業	□建設・整備事	「業 施設の	維持管理事業	
[6]	□ 内部管理事務	□計画等の策定	≣事務	- 1		
会計区分 [7]	[☑ 一般会計	特別·企業会計【		】   款   4	項 1 目 3	細目 1
《事務事業の目的』	<b>»</b>					
事務事業の実施背景(ど						
のような問題又はニーズ		理妊婦が問題となって チ婦健診を受けやすい			軽減による安心	›•安全な
があるのか) [8]	田座を迎える/この//こり	エ婦健診を支げやすじ	い本制 つくりを行う!	必安かめるにめ。		
対象(誰、何に対して)	本市に住所を有し、か	への母子健康手帳の交	付を受けている好	迁婦。		
[9]						
意図(どのような状態に	<u> </u>	÷ //: TH TI 4 5 //: 45 4	チャール ナナ YO こっ		***	
したいのか)		東管理及び健やかなぬ	は娠・出座を迎える	のために正期健康診	<b>盆を実施する。</b>	
[10]						
《事務事業の概要》	<b>&gt;&gt;</b>					
事業期間	□単年度のみ	☑ 単年度繰	返し	□ 期間限定複数	年度	
[11]		【 H17 年		年度~	年度ま	
事業主体 [12]	国	<u> </u>	民間	一その他【		<u> ]</u>
実施方法 [13]	□ 直営 □ 全i	部委託 ☑ 一部委	₹託 ∐補助:		の他【	1
				事務事業を構		[15]
	  14回の妊婦健康診査	費の助成(妊婦健康詞		① 妊婦健康語	≶ <b>企争</b> 兼	
事務事業の具体的内容	付)により、定期的に	妊婦健康診査を受診し		<b>⇒</b> 2		
	の健康状態を確認す	る。		3		
[14]				<u>4</u>		
				(3)		
《事務事業実施に	<i>系るコスト≫</i>					

ペチ切手未大地に 水も ハイッ									
					H25年度決算	H26年度決算	H27年度決算	H28年度予算	全体計画
	事	国庫支出金		%					
	業	県支出金		%					
	費	起債		%					
<b>+</b> л.	~ 千	受益者負担							
投 入	円	その他							
	$\overline{}$	一般財源			48,643	48,278	46,563	51,118	
スト		【16】 小 計	-		48,643	48,278	46,563	51,118	0
		[再掲]臨時·非常勤職員人作	牛費(	千円)	317	0	0	0	
	職人	職員人工数			0.14	0.26	0.46	0.46	
	員件	職員の年間平均給与額	預(千	一円)	5,424	5,761	5,761	5,761	
	の費	【17】 小 計	•	·	759	1,498	2,650	2,650	
		合 計		Ü	49,402	49,776	49,213	53,768	

#### ≪事務事業の手段と活動指標≫[18]

事	務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28計画
1	妊婦健康診査事業	14回の妊婦健康診査受診 票を交付する。	受診票交付人数	人	615	600	555	555
2								
3								
4								
<b>⑤</b>								

## **《事務事業の成果≫**[19]

	成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H25目標	H26目標	H27目標	H28目標
	八木相保(忌凶の奴旧七)	司 异刀 広义 13 武明	中山	H25実績	H26実績	H27実績	/
		全出生児に対する出生体重が	%	7.5	8.0	8.0	8.5
Ι'	似山土体里光山连华	2,500g未満の出生児の割合。	70	8.5	8.6	7.8	/
	2 妊婦受診票初期交付率	妊娠11週以内に受診票を交付した 妊婦の割合。	%	92.0	92.0	92.0	90.0
	2			90.3	91.2	94.6	/

《事務事業の評価》

<i>《学物学术》,即画《</i>								
	評価項目	評価の視点	評価	評価の説明				
妥当	実施主体の妥当性 【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	問題は 問題な					
性	目的の妥当性 【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民二一ズの低下により役割が薄れていないか。	<ul><li>□ 問題を</li><li>□ 問題を</li></ul>					
〈判定〉	廃止・休止の影響 【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる 等の影響があるか。	影響を					
有効	目標の達成度 【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<ul><li>✓ 達成</li><li>★達成</li></ul>					
性	成果向上の余地 【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	余地な					
〈判定〉 A	上位施策への貢献度 【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<ul><li>✓ 十分</li><li>✓ 不十分</li></ul>					
<del></del> r	コスト低減の余地 【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	余地なる。					
効 率 性	民間の活用の余地 【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ 以上検討の余地はないか。	余地な					
	執行方法改善の余地 【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	余地な					
〈判定〉 A	事業統合の余地 【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	余地な					
公平性	受益者負担の余地 【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地は ないか。また、対象、負担額等は適切か。	□ 余地な □ 余地な					

## 《今後の方向性と改善》

	今後の方向性 [31]	<ul><li>□ 拡充して継続</li><li>□ 掘小を検討</li><li>□ 掘事業の効率化【□ 改善・見直し</li><li>□ 民間活用</li><li>□ 他事業と統合</li><li>□ 廃止</li></ul>
	判断理由及び見直し・改 善の具体的内容	妊婦受診票初期交付維持のため、市広報紙や玉名市ホームページ、たまログ等で母子健康手帳交付の日時や妊婦の相談窓口の啓発を行い、利用者支援事業所や母子保健推進員等地域と連携し妊娠届出の早期提出を促していく。さらに、妊婦の将来の生活習慣病予防や、低出生体重児発症予防のため母子手帳交付時の両親学級での保健指導や妊婦健康診査の結果よりハイリスク妊婦の訪問指導や電話フォロー、産後のフォロー体制(若人健診の案内等)の充実を継続していく。
昨	年からの見直し・改善状況 【32】	入力業務の検討(業者見積書徴収等)を行った結果、費用対効果から、現状がより効果的と判断し、職員と非常勤職員の業務分担を見直し入力業務を分担した。

#### ■評価責任者記入欄■

	棒がナストッと て 日本マ叶 いかがって 山本のマ叶のとは 囚仕とウスのにも	評価責任者
評価責任者(課長)の所見	懐妊するに当たって、早産予防や飛び込み出産の予防のため、母体を守るのに有効な助成制度であると考えられる。	竹村 昌記
[33]		1717 1110